

## 開架資料紹介 蚕業関係業界誌

横浜港が生糸輸出で賑わったことはよく知られている。その最大のピークは第一次大戦中、戦後期で、アメリカの好景気に支えられて、空前の相場となった。しかし大正九（一九二〇）年の恐慌で市場は混乱し、その後長い不況となった。それに追い打ちをかけたのが関東大震災で、生糸輸出は横浜一港から、横浜・神戸二港体制へと移行した。生糸焼失の影響を受けた売り込み商の損害も大きく、経営体力を大きく損なって新興勢の参入を許した。一方、生糸消費国のアメリカでの化学繊維レーヨンの実用化によって生糸は織物から靴下用編み物へと比重を移し、より高品質な生糸だけが輸出に向けられるようになった。そして高品位生糸の製出の成否が製糸家間の格差を広げて、巨大製糸資本のなかには輸出業を兼ねるものが出現した。世界恐慌は生糸消費の規模を縮小させ、日米開戦は生糸貿易の途絶を意味した。

長い前置きとなったが、大正中期から昭和前期にかけて、日本蚕糸業は危機と激動の時代を体験した。そのような事情を背景として、横浜では蚕糸業関連の業界誌がいくつかが発行されている。蚕糸業の急激な変化に対して、横浜の当業者がなによりも情報を必要としたということであろう。当室では、

一九九〇年前後に『横浜市史Ⅱ』編纂のため、当時の横浜市史編集室がいくつかの所蔵機関からマイクロフィルムで収集した三誌が、複製本で公開されている。

『シルク』は、大正七（一九一八）年七月一五日に創刊された、「生糸及絹物界之権威」とサブタイトルにある雑誌である。発行人河合清、発行所志留久社。大正一〇（一九二一）年と昭和一一（一九三六）年の二ヶ年分を除き、昭和一三年一二月までがある。サブタイトルは競争相手レーヨンの影響を反映して「生糸、人絹及絹織物雑誌」に変更されている。

『蚕糸経済』は、昭和四（一九二九）年一〇月一〇日に創刊された。発行兼編集人佐藤盛平、発行所横浜経済通信社。わずかな欠号を除いて、昭和一八年四月までがある。

『シルク時報』は、昭和八（一九三三）年九月一五日創刊。発行兼編集人長見公祐、発行所シルク時報社。昭和一三年一二月までがある。

創刊の時期が異なり、それぞれ編集方針の違いもあるが、この三誌によって、第一次大戦好況末期から太平洋戦争下までの蚕糸・絹物業界が俯瞰できる。横浜に根ざした業界誌であることから、横浜の蚕糸業界の重要人物の筆になる論考も多く、また人物評なども興味深い。毎号末尾の関係統計も充実している。

（平野正裕）

## 《市史資料室たより》

### 【横浜市史資料室 室内展示コーナー】 洲崎青年団とその時代

会期：開催中～1月13日(土)  
時間：午前9時30分～午後5時  
休館日：12月18日(月)、  
12月29日(金)～1月4日(木)、  
1月9日(火)  
◎入場無料

場所：横浜市西区老松町1番地  
横浜市中央図書館地下1階  
横浜市史資料室室内展示コーナー

内容：本年度横浜市史資料室は、洲崎町内会から「洲崎青年団関係資料」の寄贈を受けました。資料は、関東大震災後～日米開戦前、の時期に限られますが、洲崎の近現代史を知る好個の資料です。この展示では、洲崎在住の方から提供された当時の写真も紹介します。

### 【展示会「昭和横浜の構想図・完成予想図 ー過去に描いたヨコハマの未来ー」が終了しました。】

7月15日～9月10日まで開催された展示会は4363人にご見学いただきました。「昔描いていた街の将来図はこうだったのかと興味深く見た。」「実現しなかった計画の

図面などを見られる機会はなかなかないので、そうした計画図を数多く見られてよかった。」など好評でした。



（平成29年度展示風景）

### 【展示関連講演会が開催されました。】

8月26日(土) 午後1時30分～横浜市中央図書館地下1階ホールで開催され、95人が参加されました。

まず「都市ヨコハマの未来像～震災復興からみなとみらいまで～」、次に「完成予想図で見る横浜駅東口の開発ー昭和30年代ー」の内容で講演が行われました。

「関東大震災被災から現みなとみらい21までの横浜中心地域の発展の動きが自分の中で再整理出来た。」「東口ビルが度重なる変更で完成した経過がよくわかった。」「1部、2部とも、興味深くわかりやすかった。」などの感想をいただきました。

### 【寄贈資料】

- 1 根本政視様 根本千賀子家資料追加 5件
- 2 河嶋 弘様  
横浜市電気局麦田営業所関連写真他 4点
- 3 横浜市金沢区洲崎町内会様  
洲崎青年団関係資料 100点
- 4 安土清忠様 原稿 横浜大空襲の日他 2件
- 5 芦原史子様 戦時報国債券他 16件
- 6 佐々木正子様  
金子清東南亜細亜官費旅行記第三巻 2点
- 7 加藤園子様  
写真 震災前の十全医院他 6点
- 8 鈴木正恵様 小野道正家資料追加 2点
- 9 鈴木久子様  
『野澤屋から横浜松坂屋へのあゆみ』他 8件

### 【資料提供のお願い】

市史資料室では、昭和期の横浜に関する国内外の資料の収集、保存、調査研究および公開をおこなっています。昔の街並みや行事の写真、古い絵はがき、パンフレット、ポスターなど横浜を記録した資料をお持ちの方は御連絡下さい。次世代の横浜市民に引継ぎます。

### ◇ 休室日のご案内 ◇

12/18日(月)、12/29日(金)～1/4日(木)、  
1/9日(火)、2/13日(火)、3/19日(月)